

この概要は、令和5年3月23日に開催した茅ヶ崎市景観まちづくり審議会の速報として作成したものです。

詳細については、令和5年5月7日までに公表する予定の会議録をご確認ください。

令和4年度 第3回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会 会議概要

日 時：令和5年3月23日（木）

13時30分から14時40分まで

場 所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室5

出席委員：水沼委員 高橋委員 清水委員 菊地委員

欠席委員：三友委員 深谷委員 荒井委員

出席職員：【都市部】後藤都市部長

【景観みどり課】田代課長 石下主幹 宮地主任 大竹主任 二階堂主任

1 開 会

2 議 題

(1) 会長及び職務代理者の選出について

会長に水沼委員が選出され、職務代理者に清水委員が指名された。

(2) 茅ヶ崎市景観まちづくり審議会における議事録の作成及び公表について

議事録の作成方法は従前のおり、発言者の氏名と発言の全内容を記載する方式となった。

(3) 景観重要公共施設（駒寄川）の指定について（諮問1号）

資料に基づき事務局が説明を行い、審議会です承された。主な意見は以下のとおり。

- ・メダカやカモなど生きものと触れ合うことができる場所なので、この川で見られる生きものの看板が立ててあると魅力が高まるのではないか。
- ・この場所は親水空間があり生きものと触れ合うこともでき、景観計画の目標の一つである「屋外の生活を楽しめる空間をつくる」ことに当てはまるような場所だと思うので、ぜひ景観重要公共施設として指定していただきたい。また、この場所を大切に思ってもらおうとか、この指定をきっかけに新しい発見ができるように、指定後のプロモーションをしっかりとっていただきたい。
- ・現状の護岸は暫定整備だが、今後新たに護岸整備する際に茅ヶ崎の景観をどうしたいかということ反映させる絶好のチャンスだと思うので、今回景観重要公共施設に指定することに意味があると思う。
- ・「さかえはし」や「しんこまよせはし」などの高欄の親柱はデザインが濃く、石状の表面仕上げ等が珍しいものだと思う。作った人はここにあると面白いだろうなとかここに必要だと思ってデザインしたものだと思うので、親柱を紹介して現地を探してもらっただけでも面白いと思う。

(4) 茅ヶ崎市景観計画前期報告書について（諮問2号）

資料に基づき事務局が説明を行い、実施事業の評価指標について事務局で改めて表現方法を検討することとし、審議会です承された。主な意見は以下のとおり。

- ・計画書や報告書は広報の一部であると思うが、堅く感じるため、見せ方に気を使っていたきたい。前期の報告書は後期に仕掛けることのバックデータであるので、今後の盛り上げや広報に期待したい。
- ・事業評価の評価指標にB⁻（未着手）とC（未達成）があるが、同じように目標を達成していないも

のが一方ではB評価、一方ではC評価となっていることに違和感がある。未着手についてはB⁻以外にも例えばZとか(未)とか、違う表現もあるのではないか。Cだと見栄えが悪いからB表記とするのは違うと感じる。

- ・審議会では市民委員が1人しかいないので、報告書が多く市民の目に触れることや市民の声が反映される工夫があると良いと感じた。市民は税金がどのように使われているのかということに関心があるので、税金がどのようにまちづくりに反映されているのかというのがPRできればよい。

3 その他

次回審議会の日程等について報告を行った。

4 閉 会